

先生各位

TSH（甲状腺刺激ホルモン）値の ハーモナイゼーションに関するご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、日本臨床検査医学会標準化委員会において、TSH（甲状腺刺激ホルモン）値のハーモナイゼーションの方針が提言され、弊社使用試薬についてメーカーより補正係数に関する連絡がございましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《対象項目》

総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	ハーモナイゼーションにおける補正係数 (メーカー資料)
P.28	2391	TSH（甲状腺刺激ホルモン）	1.0

《解説》

日本医師会が毎年施行している臨床検査精度管理調査結果報告書によると、TSH（甲状腺刺激ホルモン）値は測定キット間変動が大きいことが問題となっており、日本臨床検査医学会を中心として国際標準化に向けての議論が進められてきました。

その結果、日本臨床検査医学会標準化委員会は2020年1月30日、「甲状腺刺激ホルモン（TSH）値のハーモナイゼーションについて」として、国際臨床化学連合 甲状腺機能検査標準化委員会（IFCC C-STFT）が示すIFCC基準適合検査値（Phase IV）の補正方法およびこの補正方法を適用した基準範囲に関する提言を行いました。

このことを受け、弊社使用試薬においてもメーカーよりIFCC基準適合検査値（Phase IV）に準拠した補正係数に関する案内がございましたので、ご報告させていただきます。

《備考》

弊社で使用している試薬の補正係数は1.0であるため、測定値に変動はございません。基準範囲につきましても変更は行いませんが、IFCC基準適合検査値（Phase IV）の補正方法を利用して確認された日本人成人（20～60歳）の基準範囲（RI）0.61～4.23 $\mu\text{IU/mL}$ （ mIU/L ）をご要望される場合は、弊社営業担当へご連絡をお願い致します。